



元禄十八年二月六日

第九



賤何草連歌

Handwritten Japanese text in cursive style, including characters like 駕, 梢, 常, 嶺, 後, 通, 山, 世, 小, 枝, 全.



流
は
の
あ
ら
し
と

か
ら
の
か
ら
ん
と
ら
ん
の
奥

の
奥
の
水
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

の
流
の
流
の
流

多岐の夜よりの
田の風吹く
今も昔も
今年も
古きも
今も
柳の影
山の手
時々の
小舟
あはれ
つぎ

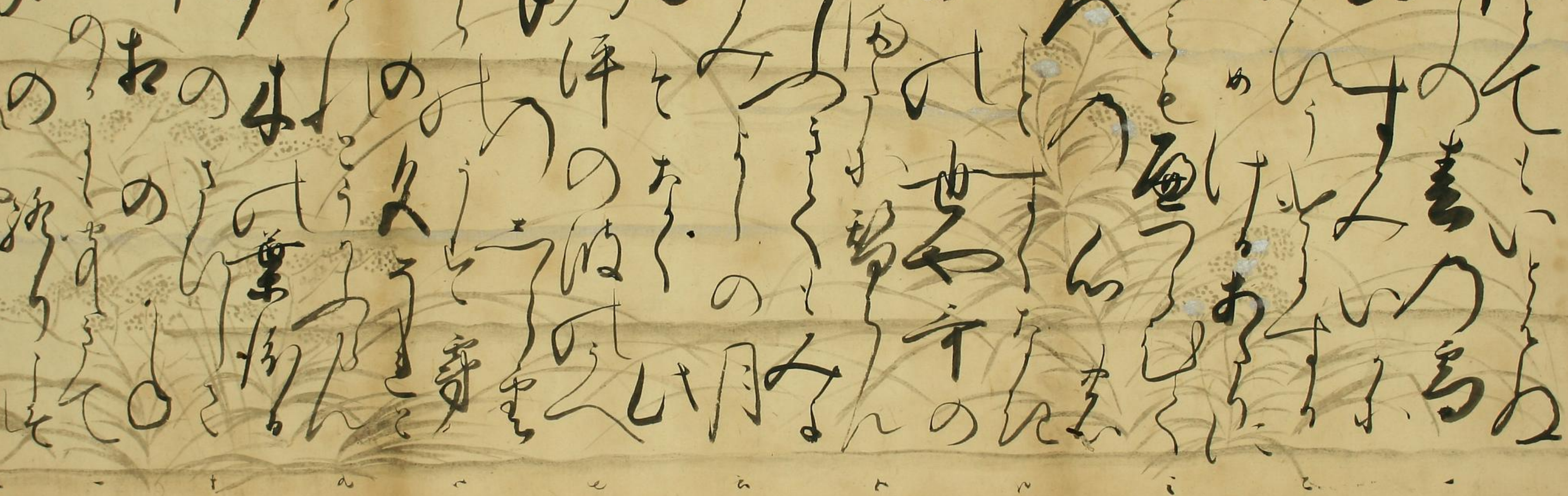
Handwritten text on the left edge of the page, partially cut off.

Main body of handwritten Japanese text in cursive style (sōsho), spanning across the page with some faint background illustrations.

A series of small, faint characters or marks located at the bottom of the page, likely serving as a signature or date.

遊に遊むの時こそ
 人々の心もは
 未だ人の心も
 あはれやうし
 馬の心も
 秋の心も
 戸の心も
 乃の心も
 悲の心も

...
 の心も...



第九

御札書御連歌

北野書院

伊地知文庫

文庫20

49

9



北野天満宮法樂子方連

元禄十五年二月

大納殿



